

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公表番号】特表2016-513576(P2016-513576A)

【公表日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2016-503418(P2016-503418)

【国際特許分類】

A 61 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 61 F 9/007 200 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年6月13日(2016.6.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

1つまたはもっと多いロープ18を、虹彩の一部の上方に虹彩拡張器10の埋め込みおよび/または拡張の間に延びるように、本体12上に備えてもよい。複数のロープ18は、本体12の第1の辺24などの本体12の单一の辺に沿って等間隔で、本体12に対し間隔が空いていてよい。ロープ18は、それに隣接して虹彩の一部を受けるように配置されている。これは、虹彩拡張器10のための虹彩に対する配置機能、および、本体12を拡張させおよび本体12を拡張状態で保持している間のさらなる安定性を提供する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

図3を参照すると、ロープ18を、本体12の第1の辺24と第2の辺26の両方に沿って備えることができる。第1および第2の辺24、26上のロープ18は、上および下に位置する一対のロープ18の間に直接、U字型のポケット28を形成するように、本体12の周囲に位置合わせすることができる。ポケット28は、虹彩の部分を受けることができる。これとは別に、図4~6を参照すると、本体12に関して向き合った辺24、26からロープ18が交互に突出するように、ロープ18は、第1の辺24と第2の辺26の間で、第1および第2の辺24、26のそれぞれに対して等間隔で間隔が空いていてよく、しかし、位相はずれていてよい。この配置は、ポケット28を画定することなく、上側および下側の安定化を提供する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

本発明の第2の実施形態において、および、図4~19を参照すると、チャネル22は、対応するセグメント14に沿って本体12の第1の辺24上に露出している開口20を

有するセグメント14の1つを通って延びるように配置されている。このように、チャネル22は、図4Aおよび図4Bに概略的に示されるように、その部分が本体12の外部に露出せずに、セグメント14内に埋め込まれている。チャネル22は、本体12の内側面27と外側面29の両方から内側に完全に間隔が空いている。この配置により、チャネル22内に受けた、虹彩組織に対し軸方向に位置合わせずれがある器具の位置を突き止める。チャネル22はブラインド(図4A)であってもよいし、または、第2の辺26上で外部に露出している第2の開口30(図4B)へ延びていてもよい。この配置では、チャネル22内に係合した器具は、虹彩の縁の内側に位置する。したがって、第2の開口30を通って延びる器具を用いてさえも、器具は虹彩に直接接触することがない。好ましくは、拡張平面を横断する長手方向軸に沿ってチャネル22が延びている。さらに、対応する開口20をそれぞれ有する複数のチャネル22を、本体12内に備えることができる。チャネル22は、本体12に対し均等に間隔が空いていてよい。加えて、1つのロープ18を、チャネル22の各々に隣接して配置してもよい。これにより、拡張のために力が加えられる可能性がある場所において、さらなる組織の安定化を可能にする。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

虹彩拡張器であって、

非金属性の単体の本体であって、第1の状態から第2の状態へ拡張可能なマルチセグメント化された本体を備え、前記第1の状態よりも大きな占有面積を前記第2の状態が画定し、前記本体は、複数のセグメントであって、前記本体の薄くなった部分によって該セグメントの隣接する対の間に形成されたリビングヒンジで接続された複数のセグメントによって画定される閉じたループ状であり、前記第1の状態から前記第2の状態への拡張の過程で前記本体の拡張は概して拡張平面内にあり、前記本体は向き合った第1および第2の辺を含み、前記第1および第2の辺はそれぞれ前記拡張平面から概して外方を向いており、前記リビングヒンジは、前記第1および第2の辺の間に、虹彩の組織がそこを通って延びることを許容しないように、連続して延びている、虹彩拡張器。

【請求項2】

請求項1に記載の虹彩拡張器において、

前記本体が少なくとも1つの突出するロープを含む、虹彩拡張器。

【請求項3】

請求項2に記載の虹彩拡張器において、

前記本体の向き合った辺から複数のロープが交互に突出する、虹彩拡張器。

【請求項4】

請求項2に記載の虹彩拡張器において、

前記本体から少なくとも一对のロープが突出し、それらの間にU字型ポケットを画定する、虹彩拡張器。

【請求項5】

請求項1に記載の虹彩拡張器において、

前記セグメントのうちの第1のセグメントおよび前記セグメントのうちの第2のセグメントが、前記本体が前記第1の状態にある状態で、概して全部の他のセグメントと集合的に境を接するように構成されている、虹彩拡張器。

【請求項6】

請求項5に記載の虹彩拡張器において、

前記第1のセグメントは円弧状に形成されおよび前記第2のセグメントは円弧状に形成され、前記第1および第2のセグメントは、前記本体が前記第1の状態にある状態で、互

いに外向きに弓なりになるように配置されている、虹彩拡張器。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の虹彩拡張器において、
前記本体がエラストマー材料を含む、虹彩拡張器。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の虹彩拡張器において、
前記本体が熱可塑性材料を含む、虹彩拡張器。

【請求項 9】

虹彩拡張器であって、
ループ状の閉じた本体であって、第 1 の状態から第 2 の状態へ拡張可能なマルチセグメント化された本体を備え、前記第 1 の状態よりも大きな占有面積を前記第 2 の状態が画定し、前記本体内に少なくとも 1 つの開口が、そこから前記本体の部分にチャネルが延びている状態で形成され、使用の間に虹彩の組織に対して、そのどの部分も前記本体の外部に露出しない状態で軸方向に位置合わせずれがあるように、前記本体内に前記チャネルが埋め込まれており、前記チャネルは、前記本体の調整を引き起こすために器具の一部を収容するように形成されており、前記本体はヒンジで接続された複数のセグメントを含んでおり、前記第 1 の状態から前記第 2 の状態への拡張の過程で前記本体の拡張は概して拡張平面内にあり、および、前記本体は向き合った第 1 および第 2 の辺を含み、前記第 1 および第 2 の辺は前記拡張平面から概して外方を向いており、前記ヒンジは、前記第 1 および第 2 の辺の間に、虹彩の組織がそこを通って延びることを許容しないように、連続して延びている、虹彩拡張器。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の虹彩拡張器において、
前記チャネルは前記本体内に形成された第 2 の開口において終端する、虹彩拡張器。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の虹彩拡張器において、
前記チャネルは前記拡張平面を横断して配置された長手方向軸に沿って延びている、虹彩拡張器。

【請求項 12】

請求項 9 に記載の虹彩拡張器において、
前記開口の複数が前記本体に対し間隔を空けて備えられ、それぞれの前記開口から、チャネルが、そのどの部分も前記本体の外部に露出しないように埋め込まれて、前記本体内に延びている、虹彩拡張器。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の虹彩拡張器において、
前記複数の開口は前記本体に沿って均等に間隔を空けて設けられている、虹彩拡張器。

【請求項 14】

請求項 9 に記載の虹彩拡張器において、
前記本体は非金属性である、虹彩拡張器。

【請求項 15】

請求項 9 に記載の虹彩拡張器において、
前記本体がエラストマー材料を含む、虹彩拡張器。

【請求項 16】

請求項 14 に記載の虹彩拡張器において、
前記本体が熱可塑性材料を含む、虹彩拡張器。

【請求項 17】

請求項 14 に記載の虹彩拡張器において、
前記開口のうちの第 1 の開口は前記セグメントのうちの第 1 のセグメント内に形成され、チャネルであってそのどの部分も前記第 1 のセグメントの外部に露出しないように前記第 1 のセグメント内に埋め込まれたチャネルが、前記第 1 の開口から延びている、虹彩拡

張器。

【請求項 1 8】

請求項 9 に記載の虹彩拡張器において、

前記セグメントがリビングヒンジで接続されている、虹彩拡張器。

【請求項 1 9】

請求項 1 8 に記載の虹彩拡張器において、

前記リビングヒンジは、前記本体の薄くなった部分によって、前記セグメントの隣接する対の間に形成されている、虹彩拡張器。